

2015

中間報告書

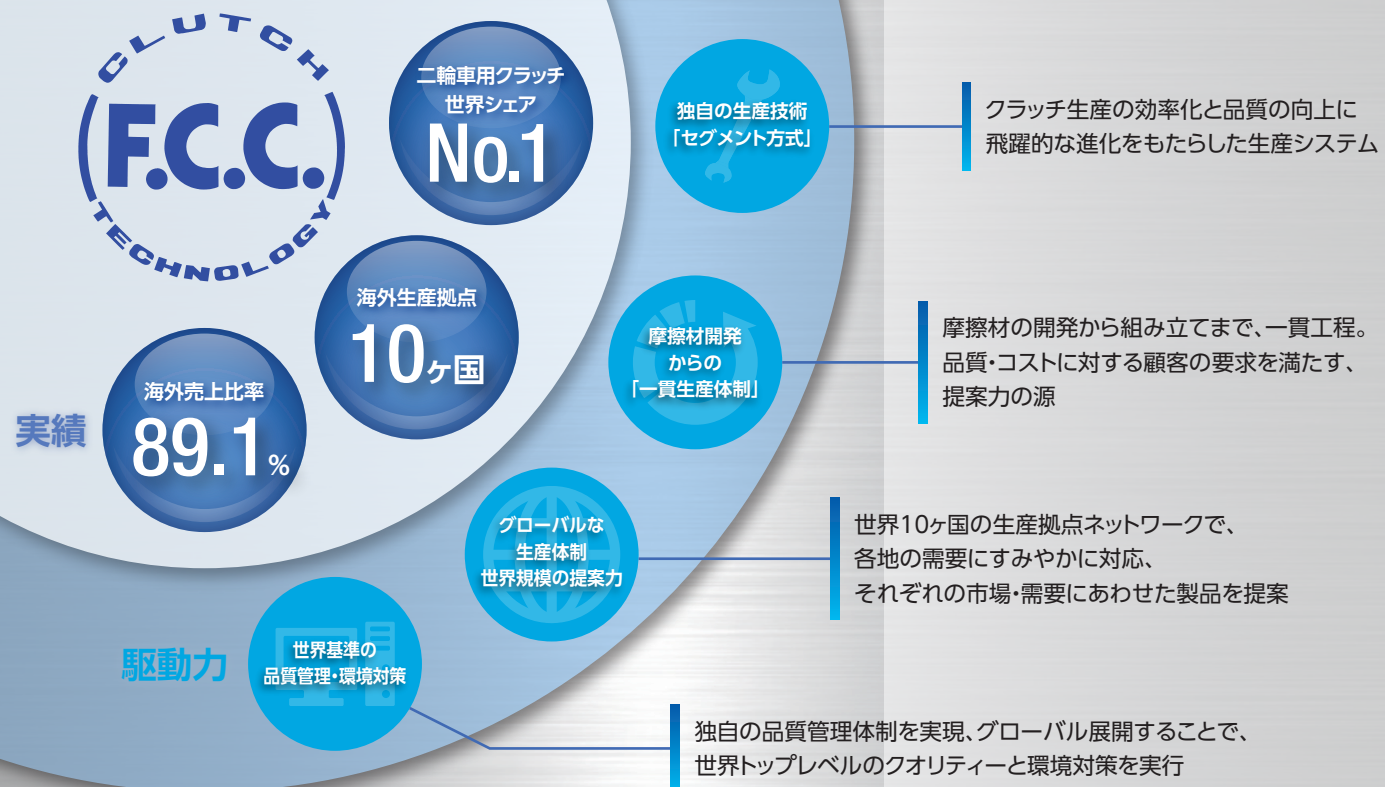
(平成27年4月1日～平成27年9月30日)



Clutch technology for the world.



クラッチ市場で明日へつなぐ、世界のリーディングカンパニー



To Our Shareholders

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。2015年度第2四半期の事業内容を報告するにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の業績は、国内自動車販売やインドネシアの二輪車市場は減速したものの、米国や中国において四輪車用クラッチの販売が堅調に推移したことにより、売上収益は84,034百万円(前年同期比13.9%増)となりました。営業利益は、減価償却費の増加に加え、生産管理システムの開発中止に伴う減損損失を計上したものの、増収に伴う利益の増加や内作費削減等の効果もあり5,358百万円(前年同期比45.9%増)となりました。税引前四半期利益は、為替差益の減少により5,022百万円(前年同期比2.0%増)となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は、移転価格税制に関する税還付等もあり3,963百万円(前年同期比43.4%増)となりました。

中間配当金につきましては、業績等を総合的に勘案し1株当たり20円とさせていただきます。

今後の経営環境は、中国をはじめとする新興国の景気先行きに不確実な要素もありますが、現在進めている第9次中期経営計画に掲げる重点施策を確実に実行し、グループの総合力を発揮して持続的な成長の基盤構築に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援を賜りますようお願い申し上げます。

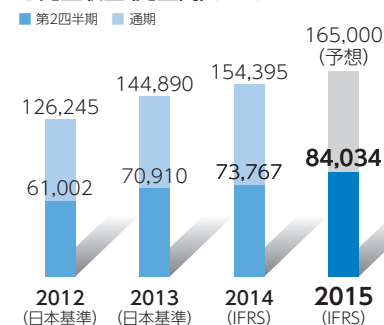
2015年11月



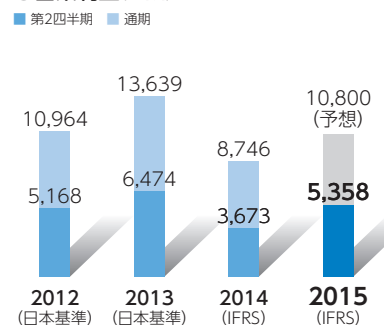
代表取締役社長

松田年真

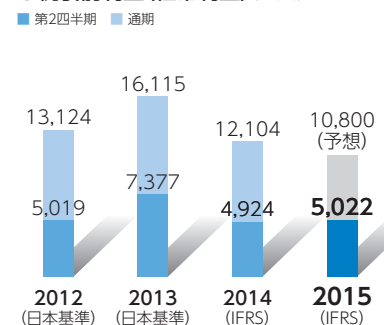
●売上収益(売上高) (百万円)



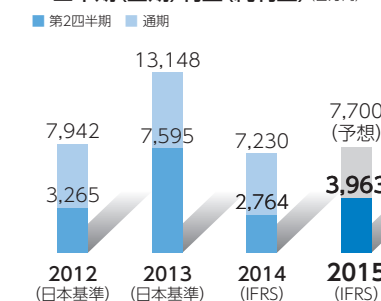
●営業利益 (百万円)



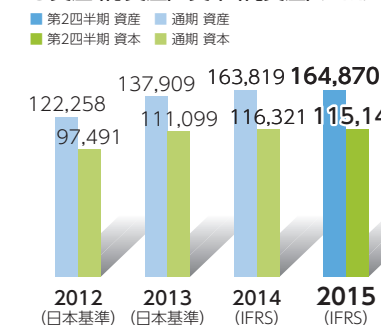
●税引前利益(経常利益) (百万円)



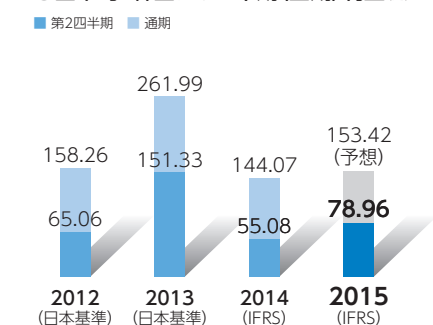
●親会社の所有者に帰属する
四半期(当期)利益(純利益) (百万円)



●資産(総資産)/資本(純資産) (百万円)



●基本的1株当たり四半期(当期)利益 (円)



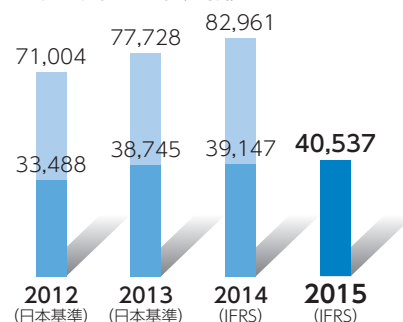


二輪車用クラッチ

●売上収益(売上高)

40,537
百万円

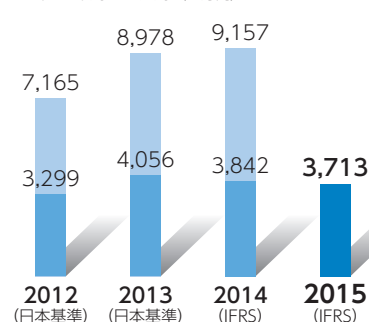
■ 第2四半期 ■ 通期 (百万円)



●営業利益

3,713
百万円

■ 第2四半期 ■ 通期 (百万円)



製品情報

オートバイに使用される多板クラッチとスクーターに使用される遠心クラッチ等があります。ビジネス・レジャー・スポーツ・レース等の使用目的にあわせ、50ccから2000ccを超える排気量に対応する豊富な種類をご用意しています。その他に、ATV用クラッチや汎用機用クラッチ等があります。
※ATV: All Terrain Vehicle (バギー)

売上構成比
48.2%

インドネシアの二輪車市場は減速したものの、ベトナムやインドにおいて販売が増加したことにより、売上収益は40,537百万円(前年同期比3.5%増)となりました。営業利益は、内作費削減等の効果があったものの、インドネシアの減収影響や減損損失の影響等もあり3,713百万円(前年同期比3.4%減)となりました。

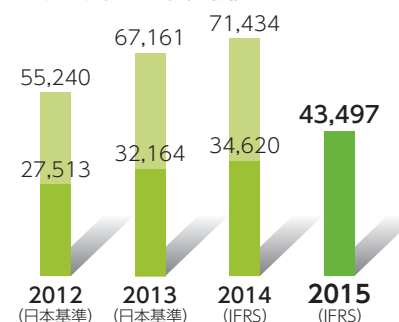


四輪車用クラッチ

●売上収益(売上高)

43,497
百万円

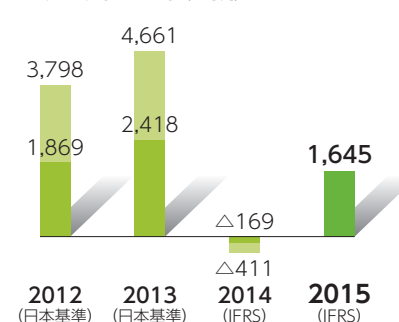
■ 第2四半期 ■ 通期 (百万円)



●営業利益

1,645
百万円

■ 第2四半期 ■ 通期 (百万円)

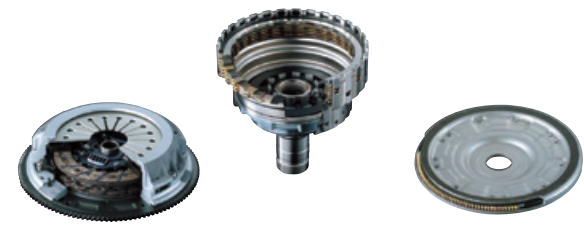


製品情報

オートマチックトランスミッション(AT)用クラッチ、マニュアルトランスミッション(MT)用クラッチ、トルクコンバーター用ロックアップクラッチ、CVT用クラッチ、4WD用デフクラッチ等があります。

売上構成比
51.8%

国内自動車販売は減速したものの、米国においてフォード、ZF/FCA向けの販売が増加したことや中国において販売が増加したことにより、売上収益は43,497百万円(前年同期比25.6%増)となりました。営業利益は、減価償却費の増加や減損損失の影響等があったものの、増収に伴う利益の増加や内作費削減等の効果もあり1,645百万円(前年同期は169百万円の営業損失)となりました。



TOPICS

FCC INDIA Technical Centerを設立

今後の成長が期待されるインド市場において、意思決定の迅速化と同市場における更なるプレゼンスの拡大を図ることを目的に、昨年、インド子会社の合併を解消し当社グループ100%出資としました。本年9月、営業、開発、購買領域における機能強化を図ることを目的に、インド子会社の一部門としてFCC INDIA Technical Centerを設立しました。現地完成車メーカーの開発情報やニーズの収集および迅速な窓口対応を行い、事業拡大に努めてまいります。

名称	FCC INDIA Technical Center
所在地	インド ハリヤナ州 グルガオン (インド子会社内)
業務開始日	2015年9月1日

浜北工場 新工場本格生産開始

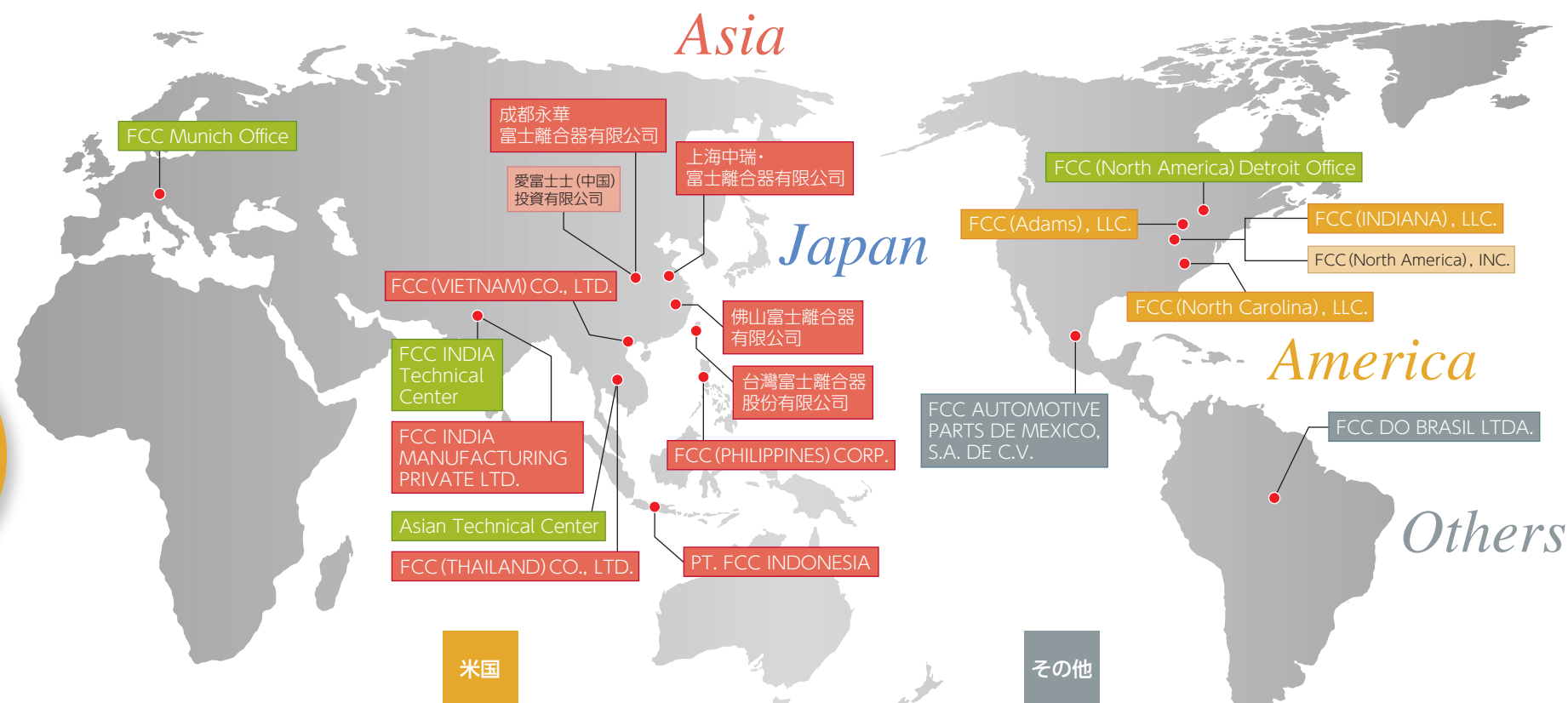
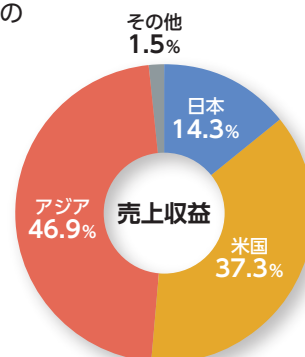
生産効率の向上とリスク対応を目的に、国内生産拠点の再編を進めてまいりましたが、竜洋工場の四輪車用クラッチ生産ラインの移管先である浜北工場の新工場が、本年7月から本格生産を開始しました。新工場の屋根一面には太陽電池パネルを設置し、環境に優しい工場と四輪車用クラッチ部門のプレス・加工領域のマザー工場としての機能強化を目指してまいります。



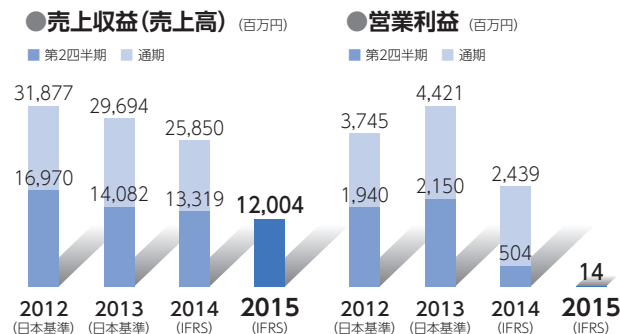
世界に羽ばたく F.C.C.のネットワーク

1988年、ジェイテックインコーポレイテッド*(米国インディアナ州)の設立を皮切りに、いまF.C.C.は海外10ヶ国、14生産拠点のラインナップで全世界のニーズに対応しながら、ハイクオリティ、ローコストな製品づくりを目指しています。これによってそれぞれの市場に対応するだけでなく、生産技術を高いレベルに保った相互補完システムをも構築し、より強固な供給体制を確立しました。

※ 現 FCC(INDIANA), LLC.

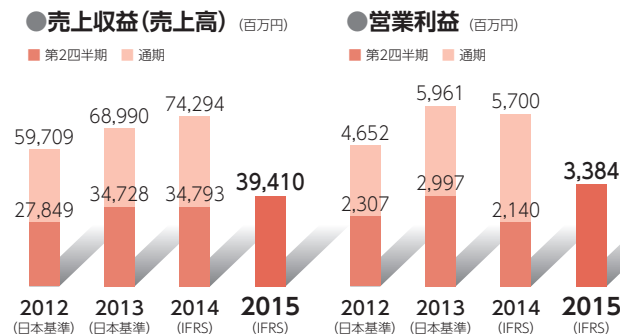


日本



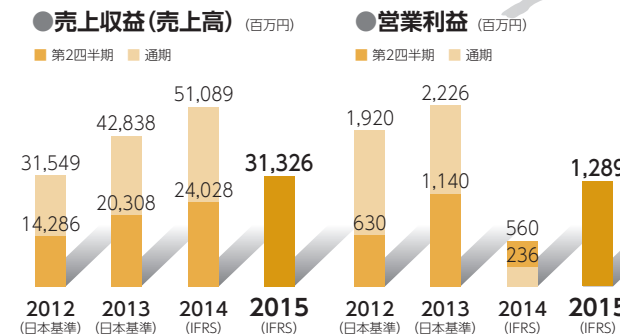
国内自動車販売の低迷により、売上収益は12,004百万円(前年同期比9.9%減)となりました。営業利益は、減収影響や減損損失の影響等もあり14百万円(前年同期比97.1%減)となりました。

アジア



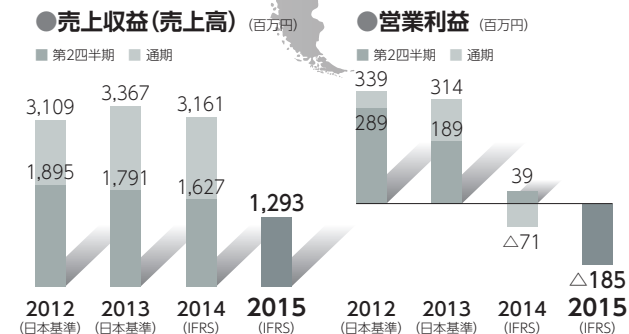
インドネシアの二輪車市場は減速したものの、ベトナムやインドにおいて二輪車用クラッチの販売が増加したことに加え、中国において四輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は39,410百万円(前年同期比13.3%増)、営業利益は3,384百万円(前年同期比58.1%増)となりました。

米国



フォード、ZF/FCA向けの四輪車用クラッチの販売が増加したことに加え、円安の影響もあり、売上収益は31,326百万円(前年同期比30.4%増)となりました。営業利益は、減価償却費の増加等の影響があったものの、増収に伴う利益の増加や内作費削減等の効果もあり1,289百万円(前年同期比130.1%増)となりました。

その他



ブラジルの二輪車用クラッチの販売が減少したことにより、売上収益は1,293百万円(前年同期比20.5%減)となりました。営業利益は、メキシコの立上げ費用の増加により185百万円の営業損失(前年同期は39百万円の営業利益)となりました。

●要約四半期連結財政状態計算書

科 目	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2015年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	17,557	19,371
営業債権及びその他の債権	26,024	27,830
その他の金融資産	1,190	1,669
棚卸資産	21,073	18,514
その他の流動資産	4,599	3,483
流動資産合計	70,445	70,868
非流動資産		
有形固定資産	75,467	77,776
のれん及び無形資産	3,748	2,643
持分法で会計処理されている投資	604	565
その他の金融資産	10,175	9,484
繰延税金資産	2,638	2,777
その他の非流動資産	740	752
非流動資産合計	93,374	94,001
資産合計	163,819	164,870

(単位:百万円)

科 目	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2015年9月30日)
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	15,103	15,969
借入金	4,271	8,477
未払法人所得税	3,090	2,078
その他の流動負債	5,368	5,575
流動負債合計	27,834	32,101
非流動負債		
借入金	12,139	10,494
その他の金融負債	26	28
退職給付に係る負債	1,486	1,484
引当金	36	36
繰延税金負債	5,748	5,320
その他の非流動負債	227	260
非流動負債合計	19,663	17,624
負債合計	47,498	49,725
資本		
資本金	4,175	4,175
利益剰余金	95,864	98,836
自己株式	△3,408	△3,408
その他の資本の構成要素	13,558	10,119
親会社の所有者に帰属する持分合計	110,190	109,723
非支配持分	6,131	5,420
資本合計	116,321	115,144
負債及び資本合計	163,819	164,870

●要約四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 自 2014年4月 1日 至 2014年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自 2015年4月 1日 至 2015年9月30日
売上収益	73,767	84,034
売上原価	△62,736	△70,473
売上総利益	11,031	13,560
販売費及び一般管理費	△6,535	△6,855
その他の収益	279	283
その他の費用	△1,102	△1,630
営業利益	3,673	5,358
金融収益	1,379	522
金融費用	△6	△855
持分法による投資損益	△122	△2
税引前四半期利益	4,924	5,022
法人所得税費用	△1,719	△688
四半期利益	3,205	4,333
四半期利益の帰属 親会社の所有者 非支配持分 四半期利益	2,764 440 3,205	3,963 370 4,333
1株当たり四半期利益 (親会社の所有者に帰属) 基本的1株当たり四半期利益(円) 希薄化後1株当たり四半期利益(円)	55.08 —	78.96 —

2015年度(2016年3月期)の連結業績予想

売上収益	1,650億円(前期比	6.9%)
営業利益	108億円(前期比	23.5%)
税引前利益	108億円(前期比	△10.8%)
親会社の所有者に 帰属する当期利益	77億円(前期比	6.5%)
基本的1株当たり 当期利益	153.42円	

●要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 自 2014年4月 1日 至 2014年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自 2015年4月 1日 至 2015年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,046	12,748
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,366	△10,839
財務活動によるキャッシュ・フロー	589	1,050
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△2,731	2,960
現金及び現金同等物の期首残高	19,046	17,557
現金及び現金同等物に係る 換算差額	573	△1,146
現金及び現金同等物の 四半期末残高	16,888	19,371

IFRS (国際会計基準) の導入

2015年3月期の有価証券報告書より従来の日本基準に替えて、国際会計基準(International Financial Reporting Standards、以下IFRS)を導入しました。

【当社グループのIFRS導入目的】

グループ会社の会計基準統一による意思決定の迅速化
財務情報の国際的な比較可能性の向上
ステークホルダーの皆様の利便性の向上

～連結損益計算書における日本基準との違い～

- 売上高は売上収益として表示されます。
- IFRSの営業利益は日本基準の営業利益とは構成内容が変わります。
- 経常利益の概念がなくなり、特別損益の項目もなくなります。
- IFRSでの当期利益は日本基準の「少数株主損益調整前当期純利益」に相当し、その内訳として開示する「親会社の所有者」に帰属する金額が、日本基準の当期純利益に相当します。

●株式の状況

発行可能株式総数	90,000,000株
発行済株式の総数	52,644,030株
株主数	17,437名
単元株式数	100株
証券コード	7296

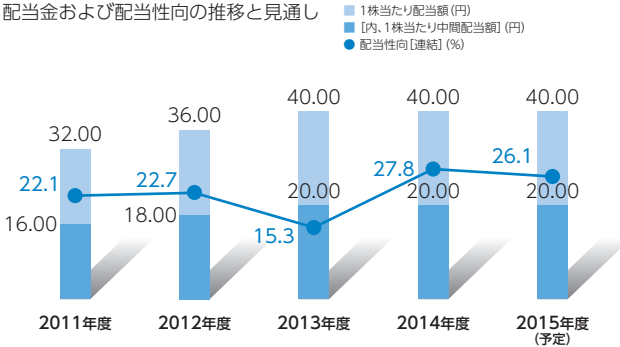
●大株主 (上位10名)

2015年9月30日現在		
	持株数 (千株)	持株比率 (%)
1 本田技研工業株式会社	10,881	21.6
2 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	2,508	4.9
3 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	2,376	4.7
4 株式会社ワイ・エー	2,019	4.0
5 ノーザン トラスト カンパニー (エイブイエフシー) アカウント ノン トリーティー	1,616	3.2
6 山本佳英	1,558	3.1
7 みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	1,315	2.6
8 山本恵以	1,300	2.5
9 NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE NVIO1	1,163	2.3
10 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	936	1.8

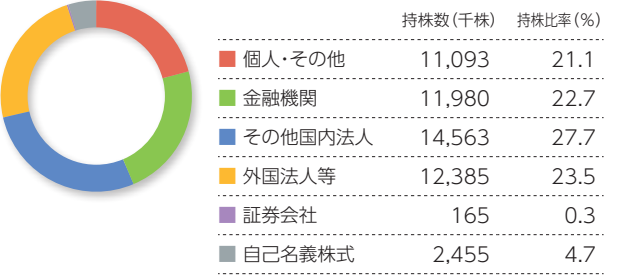
(注)1. 当社は自己株式を2,455,582株保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

●配当政策および配当金

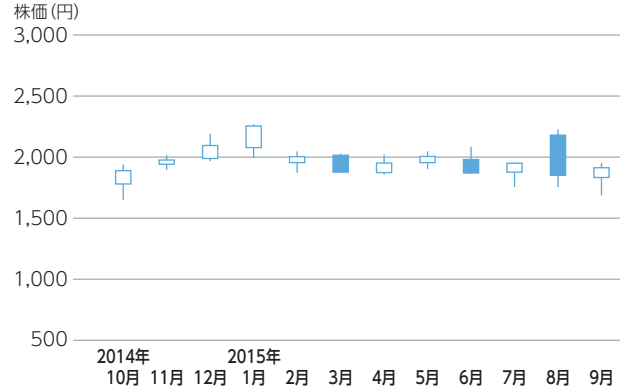
配当金および配当性向の推移と見通し



●所有者別状況



●株価の推移



【配当政策】

当社は、将来の成長のために必要な設備投資や研究開発を行い、会社の競争力を維持、強化することで企業価値の向上に努めるとともに、連結業績や配当性向等を総合的に勘案し、安定した配当を継続してまいります。

【配当金】

本年10月30日開催の取締役会の決議により、当期の中間配当金を1株当たり20円とさせていただくことになりました。

●会社概要

商 号	株式会社エフ・シー・シー (英文:F.C.C. CO.,LTD.)
本 社	静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の36 TEL:053-523-2400(代)
資 本 金	41億75百万円
代 表 者	代表取締役社長 松田年真
設 立	1939年(昭和14年)6月
従 業 員 数	7,638名(連結) 2015年9月30日現在
事 業 内 容	二輪車および四輪車のクラッチならびに その他の部品の製造販売

●役 員

代 表 取 締 役 社 長	松 田 年 真
常 務 取 締 役	齋 藤 善 敬
常 務 取 締 役	糸 永 和 広
取 締 役	鈴 木 一 人
取 締 役	松 本 隆 次 郎
取 締 役	向 山 敦 浩
取 締 役	中 谷 賢 史
取 締 役	井 上 憲 一
社 外 取 締 役	杉 山 一 統
常 勤 監 査 役	鈴 木 宏 典
常 勤 監 査 役	深 津 克 好
社 外 監 査 役	辻 慶 典
社 外 監 査 役	佐 藤 雅 秀

●主な子会社

〔国内生産会社〕			
(株)九州エフ・シー・シー		天龍産業(株)	
東北化工(株)			
〔海外生産会社〕			
FCC (INDIANA), LLC.	〔米国〕	FCC (North Carolina), LLC.	〔米国〕
FCC (Adams), LLC.	〔米国〕	FCC (THAILAND) CO., LTD.	〔タイ〕
FCC (PHILIPPINES) CORP.	〔フィリピン〕	成都永華富士離合器有限公司	〔中国〕
上海中瑞・富士離合器有限公司	〔中国〕	FCC INDIA MANUFACTURING PRIVATE LTD.	〔インド〕
PT. FCC INDONESIA	〔インドネシア〕	台灣富士離合器股份有限公司	〔台湾〕
FCC DO BRASIL LTDA.	〔ブラジル〕	佛山富士離合器有限公司	〔中国〕
FCC (VIETNAM) CO., LTD.	〔ベトナム〕	FCC AUTOMOTIVE PARTS DE MEXICO, S.A. DE C.V.	〔メキシコ〕
〔持株会社・統括会社〕			
FCC (North America), INC.	〔米国〕	愛富士士 (中国) 投資有限公司	〔中国〕

●事業所所在地

本 社	〒431-1394 静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の36
技 術 研 究 所	〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の46
生産技術センター	〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の78
細 江 工 場	〒431-1394 静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の36
浜 北 工 場	〒434-0046 静岡県浜松市浜北区染地台6丁目1番1号
竜 洋 工 場	〒438-0233 静岡県磐田市駒場6400番地1
天 竜 工 場	〒438-0202 静岡県磐田市高木1550番地1
鈴 鹿 工 場	〒510-0261 三重県鈴鹿市御園町字桜台5421番地
東 京 営 業 所	〒351-0021 埼玉県朝霞市西弁財1丁目1-5 金子ビル1F

●テレビCMのご案内



【放送時間帯】

静岡朝日テレビ
毎週水曜日
「グッド！モーニング」
7:00～8:00の間
「報道ステーション」
22:30～23:00の間

●株主メモ

事業年度：毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会：6月
剰余金の配当基準日：3月31日

中間配当を実施する場合 9月30日

単元株式数：100株

公告方法：電子公告により行います
ホームページアドレス：<http://www.fcc-net.co.jp/>
株主名簿管理人：東京都中央区八重洲1丁目2番1号
特別口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社

お取扱窓口	お取引の証券会社等。特別口座管理の場合は、特別口座管理機関のお取扱店。
特別口座管理機関 お取扱店	みずほ証券およびみずほ信託銀行 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)

【配当金計算書について】

配当金支払の際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。
確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

●株主優待制度について

株主優待制度の内容

(1) 対象となる株主様

毎年3月31日、9月30日現在の株主名簿に記録された200株以上ご所有の株主の皆様を対象といたします。

(2) 贈呈品

	贈呈品	送付時期
3月31日現在の株主様	2,500円相当の地元特産品	5月中旬
9月30日現在の株主様	2,500円相当の地元特産品	12月中旬



※所有株式数にかかわらず、200株以上ご所有の株主様一律の内容です。

株式会社 エフ・シー・シー

本社 〒431-1394 静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の36
TEL(053)523-2400(代) FAX(053)523-2405
<http://www.fcc-net.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。